

国内オーケストラトッププレイヤー
による音楽の祭典

ヴィヴァルディ

四季

田中 雅弘
(チェロ)

©Rikimaru Hotta

吉田 秀
(コントラバス)

篠崎 友美
(ヴァイオラ)

長原 幸太
(ヴァイオリン)

©眺飛交響楽団

田村 響
(ピアノ・チェンバロ)

©武藤章



岸本 萌乃加
(ヴァイオリン)



末廣 紗弓
(ヴァイオリン)



宮川 奈々
(ヴァイオリン)



巖崎 友美
(ヴァイオリン)



吉田 篤
(ヴィオラ)



市 寛也
(チェロ)



宇部市制施行100周年記念

2021 11.24 (水)

19:00 開演 (18:30開場)

渡辺翁記念会館

全席
指定

一般 3,000円 学生 1,500円 ※25歳以下の学生

未就学児の入場はご遠慮ください。
障がい者に同伴する介助者は1名まで無料。

- チケット発売 ▶ 10月1日(金) 受付時間 9:00~17:00
- 財団友の会先行予約 ▶ 9月22日(水)・23日(木・祝)

【チケット取扱】宇部市文化会館 / 宇部市文化創造財団チケットサービス ▶



【主催】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
シンフォニア岩国 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ

【共催】宇部市文化創造財団

【後援】山口県 / 山口県教育委員会 / 山口県文化連盟 / 宇部市 / 宇部市教育委員会
宇部日報社 / FMきらら / yab山口朝日放送

皆さまに安心してご来館いただけるよう
新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします。



検温



マスク着用



手指消毒



ソーシャル
ディスタンス



会話は控えめに

お問合せ 宇部市文化創造財団 TEL.0836-35-3355 (受付 9:00~17:00)

〒755-0041 山口県宇部市朝日町8番1号 FAX.0836-31-7306 <https://www.ube-bunzai.jp/>

文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業「JAPAN LIVE YELL project」 ～元氣やまぐち創造プロジェクト～

山口県防府市出身在住の元東京都交響楽団チェロ首席奏者・田中雅弘氏の声かけにより国内トップクラスの演奏家がここに集結、山口県内を巡ります。今回だけの特別編成による上質の演奏会をこの機会にぜひご堪能ください。



©Rikimaru Hotta

田中 雅弘(チェロ)

山口県防府市出身。東京芸術大学卒業。霧島国際音楽祭賞受賞。81年安宅賞受賞。第52回日本音楽コンクールチェロ部門第2位。第9回ガスバール・カサド国際チェロコンクール第3位。ユーゴスラビアにて、恩師ダニエル・シャフランの代理でリサイタルを行い、国際放送テレビにも放送され好評を博す。東京文化会館、カザルスホールなどでリサイタルを開催。第13回若い芽のコンサートに出演。第9回チャイコフスキー国際コンクールチェロ部門ファイナリスト、ディプロマ賞受賞。NHK交響楽団、東京都交響楽団などと共演。2020年3月まで東京都交響楽団首席を務める。これまでに故郷江森、ハービー・シャピロ、ダニエル・シャフラン、岩崎洗の各氏に師事。山口県芸術文化振興奨励賞受賞。アクロス弦楽合奏団として、第22回福岡県文化賞(奨励部門)を受賞。2020年度山口県文化功労賞を受賞。2021年4月より防府市音楽のまち創造プロデューサーに就任。現在、霧島国際音楽祭企画運営委員、防府音楽祭音楽監督としても活躍している。



©読売交響楽団

長原 幸太(ヴァイオリン)

広島出身。東京芸術大学附属音楽高等学校を経て東京芸術大学入学。在学中、全額スカラシップを受けジュリアード音楽院で学ぶ。小6、中1と連続して全日本学生音楽コンクール全国第1位。13歳で第6回ヴェニエアフスキ国際ヴァイオリン・コンクール17歳以下の部第3位。17歳で第67回日本音楽コンクール最年少優勝、レウカディア賞、驚見賞、黒柳賞を受賞。12歳で東京交響楽団と共演したのを皮切りに国内の主要オーケストラ、小澤征爾、故・ゲルハルト・ボッセ等多くの指揮者と共演。サイトウ・キネン・オーケストラ(指揮 小澤征爾 他)のコンサートマスターを務める。『第21回新日録音楽賞フレッシュアーティスト賞』、『エニエルギア音楽賞』など受賞多数。06年から12年まで大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター、14年10月より読売日本交響楽団コンサートマスターを務める他、ソリスト、室内楽奏者として国内外で活躍中。東京芸術大学、及び相模大学の非常勤講師を務める等、後進の指導も行っている。リサイタルのライブ録音のCD「長原幸太ヴァイオリンリサイタル2013」を好評発売中。



篠崎 友美(ヴァイオリン)

1995年桐朋学園大学を首席で卒業。1992年東京国際音楽コンクール室内楽部門において「齋藤秀雄賞」受賞。1994年ライオネル・ターティス国際ヴァイオリンコンクール特別賞受賞。1997年ミュンヘン国際音楽コンクール第3位入賞。2002年～2021年3月まで、新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者、ソリスト、室内楽奏者としても幅広く活躍しており、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等、数多くのフェスティバルに参加。紀尾井ホール室内管弦楽団、トリオン晴れた海のオーケストラ、サイトウ・キネン・オーケストラ、ラストラヴァガアンツァ東京等のメンバー。桐朋学園大学非常勤講師。2021年7月より東京都交響楽団首席奏者。

田村 響(ピアノ・チェンバロ)

2007年10月ロンドン・ティボー国際コンクールにおいて19歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至った。2009年2月ビュッホ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会デビューと日本ツアーを行った他、これまでに、N響、読響、都響、新日本フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、東京シティフィル、神奈川フィル、仙台フィル、群馬などと共演。日本各地でリサイタルを行う。室内楽活動にも力を入れており、アントニオ・メネセス、宮田大、三浦文彰の各氏等と共演を重ねるほか、同世代のアーティストとも多数共演する。また、2019年3月にはミュージカル「ガリガリプロデューサー」のバレエ作品にも出演し、自身初となるダンス・ステージとのコラボレーションを果たした。1986年愛知県安城市生まれ。3歳よりピアノを始める。18歳でザルツブルク・モーツァルト音楽大学に留学。2015年大阪音楽大学大学院修了。深谷直仁、清水皇樹、クラウディオ・ソリアス、クリストフ・リースの各氏に師事。これまでに3枚のCDをリリース。受賞歴としては、2003年アリオン賞、第14回大幸財団奨励賞、(財)江副賞金奨励賞、2006年第16回出光音楽賞、2008年文化庁長官表彰・国際芸術部門、2009年第10回ホテルオークラ音楽賞、2015年第70回文化庁芸術祭音楽部門新人賞、2017年度京都市芸術新人賞などがある。京都市立芸術大学専任講師。



©武蔵野



岸本 萌乃加(ヴァイオリン)

岡山県出身。東京芸術大学音楽学部附属音楽高校を経て、東京芸術大学を首席で卒業するとともに、アカンサス音楽賞及び三菱地所賞受賞。また東京芸術大学大学院修士課程修了後に大学院アカンサス音楽賞受賞。第10回ヴァイオリンコンクール第3位及び最優秀賞。東京音楽コンクール弦楽部門第1位。第86回日本音楽コンクール第3位。第20回重要音楽コンクールにHOMO Quartetで出場し、第3位及びベスト演奏賞。第10回重要音楽コンクール弦楽四重奏部門第1位。ヤングプロハ国際音楽祭の日本代表として招聘されコンクールを演奏。新日本フィル、東京フィル、都響、日本フィルなど多数出演。2021年5月より読売日本交響楽団の次席第一ヴァイオリン奏者に就任。



末廣 紗弓(ヴァイオリン)

1993年東京都出身。4歳よりヴァイオリンを始める。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2013にて特別賞受賞。2012年第33回草津夏季国際音楽アカデミーに参加し、成績優秀者によるガラコンサートに出演。その他2014年ウィン国立音楽大学夏季講習、2015年小澤征爾音楽塾等参加。2016年桐朋オーケストラアカデミー試験成績優秀者による学内リサイタルを開催。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業。同大学研究科を経て、桐朋オーケストラアカデミーを修了。ヴァイオリンを水野佐知香、加藤知子の各氏に師事。日本フィルハーモニー交響楽団セカンダリヴァイオリン奏者。



宮川 奈々(ヴァイオリン)

5歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学を卒業。桐朋オーケストラアカデミーを修了。第63回全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部第3位。第80・81回日本音楽コンクール入選。平成25年度公益財団法人青山財団奨励音楽事業対象者。2013年PMFオーケストラアカデミーに参加。沼尻竜典氏指揮・桐朋学園大学オーケストラと共演。サントリホール室内楽アカデミー第4・5期フェロー。これまでに松本尚三、板垣登喜雄、篠崎永寿、藤正文、景山誠治の各氏に師事。現在NHK交響楽団第1ヴァイオリン奏者。



巖崎 友美(ヴァイオリン)

埼玉県出身。7歳よりヴァイオリンを始める。東京音楽大学付属高等学校卒業後、スイスのカレイヴァイオリンアカデミーを経て、英国王立音楽大学を卒業。これまでボドウィン・夏期国際音楽祭、ケント・エロン音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、アンサンブルモデルン主催のKlangspuren Schwaz国際音楽祭等に参加。2013年ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール第3位受賞。2012～2014年は北海道帯広市のレジデンスアーティストとして「ヒカチプラザ」レインボーホールに勤務。コンサート企画や弦楽器指導に携わる。テトロ・ジョリオ・ショワフ・オーケストラ団員を経て、2016年より日本センチュリー交響楽団ヴァイオリン奏者。



吉田 篤(ヴィオラ)

山口県防府市出身。全日本学生音楽コンクール福岡大会第1位。東京藝術大学音楽学部音楽科卒業。同大学大学院音楽科修士課程修了。数多くの国内オーケストラにおいて客演首席奏者を務める。現在、東京藝術大学講師。読売日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者。東京アンサンブル「Quartet Explorace」メンバーとして佐佐木正、日本音楽コンクール最優秀賞、アフィニス夏音楽祭メンバーとして録音の賞を受賞。古楽奏者としてバハ・コレギウム・ツェルヴィ等の公演に参加。自身のユニットで豪華客席での演出するなど幅広く活動を展開。また日本を代表するタンゴヴァイオリン奏者として小坂真知子とタンゴリタル、京谷弘司リリオ等、国内主要タンゴバンドで活躍。アルゼンチン・ブエノスアイレスに於いても公演、レコーディングを行う。



市 寛也(チェロ)

福岡県福岡市出身。東京芸術大学音楽学部を経て同大学院修士課程修了。学内にて同声会賞受賞。新人演奏会に出演。リゾール室内楽セミナーにて基金賞の賞を受賞。松尾学術振興財団より助成金を授け、アフィニス文化財団派遣研修員としてドイツ・ミュンヘンへ留学。バイエルン放送交響楽団のHanno Simons氏に師事。チェロアンサンブル「Quartet Explorace」メンバー。毎年、全国ツアーと東京定期を開催。キングレコードよりCDリリースのほか、NHK-FMに出演。アクロス弦楽合奏団メンバー。ユニティのおがたレジデンスカレッジにて、東京シニアオーケストラリサイタル講師。2012年1月よりNHK交響楽団チェロ奏者。



吉田 秀(コントラバス)

1986年東京芸術大学音楽学部卒業。芸大フィルハーモニー首席奏者を経て1991年NHK交響楽団に入団。現在首席奏者を務める。室内楽の分野ではオーケストラ・デュオ・トリオ・ジャズ・アンサンブル・ラフォー・ケッツル、シン・リズム、マリア・ジョアン・ピリス、ヴァン・ファン・グアグリアン、マルタ・アルメリチ、ゲルハルト・オットー・カミナシ弦楽四重奏団、ベルリンフィルとア・ラ・リ・ラ・リ・ラ弦楽四重奏団、ロンドン・フィルハーモニー、ライプツィヒ弦楽四重奏団、グランド・ハルス弦楽四重奏団、モザイク・カペラなどと共演。また東京シニア・ユニティ、いずみ・シニア・ユニティ、紀尾井ホール室内管弦楽団、鎌倉・リリスなどのメンバーとしても活動。霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭などに参加。東京芸術大学教授、東京音楽大学、相模大学教員、沖縄県立音楽大学非常勤講師。

アートキャラバン ツアースケジュール			
10月 8日(金)	19:00	アスピラート(防府市地域交流センター)	
10月 9日(土)	14:00	不二輸送機ホール(山陽小野田市文化会館)	
10月 10日(日)	10:30	① 山口県立萩美術館・浦上記念館	
	14:00	② 有備館	
	18:00	③ 山口県立美術館	
11月 3日(水・祝)	14:00	山口市民会館	
11月 23日(火・祝)	15:00	シンフォニア岩国(山口県民文化ホールいらくに)	
11月 24日(水)	19:00	宇部市渡辺翁記念会館	
11月 25日(木)	19:00	ルネッサながと(山口県民芸術文化ホールながと)	